

2年ぶり！ 装い新たに なつかしカーショーが復活！！



約200台の名車・旧車が会場に所狭しと並びました



盛り上がったライブステージ（写真は渡辺俊美さん）



約5,500人が会場を訪れました

東

北最大級のクラシックカーイベント「西会津なつかしカーショー」が2年ぶりに開かれ、5月27日、会場となったさゆり公園には大勢の名車、旧車ファンが詰めかけました。

なつかしカーショーは2004（平成16）年から13年続く人気イベントで、昨年一旦は中止となりましたが、ファンや町民の皆さんから復活を望む声があったことから、薄友喜町長が発起人代表となり、町や町商工会、町内の自動車関連事業者などで実行委員会を組織し、運営体制を新たに復活しました。

復活を待ちわびた県内外のオーナーの皆さんが自慢の名車・バイクなど約200台を展示し、日本に1台しかない「アルピーヌA106ミッドレミアム」をはじめ、トヨタ2000GTやスカイラインなど、1950～80年代の名車がずらりと並びました。

会場には、名車、旧車以外にも消防車や救急車、自衛隊車両、除雪車両といった「働く車」や発動機などが展示されたほか、福島トヨタ自動車の協力の下、きれいにレストア（新車に近い状態に復元）された初代クラウンも特別展示されました。

また、メインステージでは渡辺俊美さんやひとりぼっち秀吉BANDのライブが行われ、旧車大好きオーナーの俺的トーク&よもやま話「なつかしカープレミアムタイム」も人気を集めました。

晴天に恵まれたこの日、会場には約5500人が訪れ、往年の名車を思い思いに眺めたり、写真に収めたりして楽しんでいました。

特別展示されたトヨタ初代クラウン



スタッフの声 Voice of staff

インタビュー INTERVIEW

若 いころに欲しかったけど買えなかった車を懐かしんだり、思い出の車にあの頃の自分を重ねたり。形やスピードなど、車の好きなどころは人それぞれです。ですから、このイベントは好きなように楽しんでもらえればうれしいです。私自身、人の車を見て楽しんでいきます。

なつかしカーショーは、今回組織を新たに復活したばかりです。まずは今の形を維持し、出展者と来場者の意見を取り入れながら、町や関係者と手を取り合い、この先も続けていければと考えています。また、車だけではなく、西会津の自然や人情を感じ、来年もまた心を癒やしに遊びに来たいと思ってもらえるようなイベントになればいいなと思っています。



ガラクターズ代表
（車両部門スタッフ）

渡部 友幸さん（会津若松市）

車の好きなどころは人それぞれ
来年もまた心を癒やしに遊びに来たいと
思ってもらえるイベントになれば

約2000台の名車・旧車から車両部門スタッフスタツプが厳選!!

■かつこよかんベ賞 (最も古いバイク)



【車両】
ゴールドスター
1958年式 (バイク)
【オーナー】
小松 洋一さん

■おんつあま賞 (最年長オーナー)



【車両】
グロリアスーパー
デラックス 1970年式
【オーナー】
中川 邦夫さん

■めぐい〜賞 (女性オーナー)



【車両】
117クーペ 1978年式
【オーナー】
加藤 麻理衣さん

■いつちよめ賞 (車とオーナーの年齢差が最も大きい)



【車両】
356スピードスター
1966年式
【オーナー】
加藤達也さん

■う〜〜こでらんに賞 (日本に1台しかない貴重な車)



【車両】
アルピーヌA106
ミツレミア 1957年式
【オーナー】
中村 和幹さん

■なんつったって一番だべ賞 (来場者の投票1位)



【車両】
トヨタ 2000GT
1969年式
【オーナー】
広川米子さん



ケーブルテレビの高所作業車 (働く車コーナー)



ひとりぼっち秀吉 BANDのライブステージ



自衛隊車両 (働く車コーナー)



カー
なつかし car ショー
2018 フォト
ギャラリー



熱唱する渡辺俊美さん



フリーマーケット



きて
くださいネ!

写真=関係者とスタッフの皆さんで記念撮影

また
来年も

